

2020 年 5 月 13 日

お客様各位

コニカミノルタ株式会社
ヘルスケア事業本部

平素はコニカミノルタ社製医療機器をご愛顧賜わりまして厚く御礼申し上げます。
この度、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大により、多くのお問い合わせを頂いております。
弊社超音波診断装置本体およびプローブの消毒方法について、ご案内致します。

超音波診断装置本体およびプローブの消毒に関するご案内（第二報）

■使用可能な消毒薬剤および消毒手順①

■対象機種

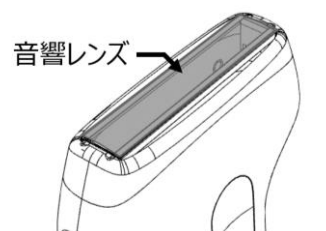
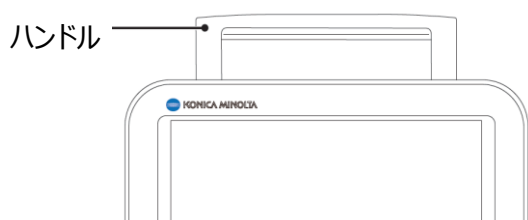
SONIMAGE HS2 シリーズ	: SONIMAGE HS2、SONIMAGE HS2 PRO、SNIbLE 2
SONIMAGE HS1 シリーズ	: SONIMAGE HS1、SONIMAGE HS1 PRO、SNIbLE
SONIMAGE MX1 シリーズ	: SONIMAGE MX1、SONIMAGE MX1 α、SNIbLE yb
SONOVISTA GX シリーズ	: SONOVISTA GX30、SONOVISTA GX20
SONIMAGE 513/613 シリーズ	: SONIMAGE 513、SONIMAGE 613
Aixplorer	: Aixplorer（エクスプローラー）

取扱説明書記載の薬剤が使用できる場合、取扱説明書記載の手順に従って消毒してください。

【消毒用エタノール液による消毒手順】

1. 柔らかい布やキッチンペーパー等に消毒用エタノール液（約 80vol%）を染み込ませ（ウェットティッシュやおしぼり程度の湿り気）、本体・プローブを清拭してください。
2. モニタ表面やモニタ端部・コンソールなどの隙間部分やプローブ表面は、エタノールが内部に侵入しないよう柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

注意）MX1 ハンドルのエタノールによる消毒は、樹脂剥がれを引き起こす可能性があり、また、**プローブ音響レンズ**のエタノールによる消毒は、レンズ剥離を引き起こす可能性がありますので、強く擦らないでください。



【次亜塩素酸ナトリウム液による消毒手順】

1. 柔らかい布やキッチンペーパー等に、0.05%～0.1%程度に希釈した次亜塩素酸ナトリウム液を染み込ませ（ウェットティッシュやおしぼり程度の湿り気）、本体・プローブを清拭してください。

隙間部分や金属部分への薬剤の侵入には十分ご注意ください。

2. 5分以内に全体を丁寧に水拭きしてください。

■注意事項

- 薬剤は適量で使用し、機器を浸漬したり、濡れたままの状態で放置したりしないでください。また、**隙間部分から内部への薬剤の侵入には十分ご注意ください。錆びやクラック、塗装剥がれの原因となります。**
- **汚れ落としのため、薬剤を染み込ませた布等で強く擦らないでください。**汚れが付着している場合は、取扱説明書記載の薬剤や薄めた中性洗剤で汚れを落としてから消毒してください。
- 作業は、電源を OFF にし、換気の良い場所で行ってください。
- 作業の安全のため、保護メガネやサージカルグローブをご使用ください。
- 取扱説明書記載の薬剤を使用の際は、各薬剤の取扱説明書をご参照ください。

以上、安全にご配慮の上、弊社超音波診断装置をご使用ください。

■参考

プローブの洗浄・消毒、浸漬範囲に関しては、各装置の取扱説明書もしくは、「プローブのお取り扱いについて」をご参照下さい。（以下は、SONIMAGE HS1 取扱説明書より抜粋）

●洗浄

- 1 プローブの汚れを清浄な水で洗い流します。
- 2 下表の薬液にプローブを浸します。
 - ・浸漬範囲は「8.1.3 プローブの各部の名称」の防水範囲を参照してください。
- 3 プローブを薬液から取り出し、滅菌水で薬液を洗い流します。
- 4 滅菌された柔らかい布でプローブを拭き、自然乾燥させます。
 - ・乾燥の際、プローブを熱したり、熱風をかけたりしないでください。故障の原因になります。

薬品名	商品名	方法および浸漬時間
酵素	サイデザイム®	0.8 W/V% (125 倍)、 浸漬 1 分 温度：室温
イソプロピルアルコール	70% イソプロピルアルコール	含浸ガーゼによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	Protex™ Disinfectant Wipes	含浸シートによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	Protex™ Disinfectant Spray	含浸ガーゼによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	Super Sani-Cloth®	含浸シートによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	Sani-Cloth® HB	含浸シートによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	Sani-Cloth® Plus	含浸シートによる拭き取り 温度：室温
塩化ベンザルコニウム	PI Spray	含浸ガーゼによる拭き取り 温度：室温

●消毒（浸漬）

- 1 消毒前にプローブを洗浄します。
- 2 下表の消毒液にプローブを浸します。
 - ・浸漬範囲は、「8.1.3 プローブの各部の名称」の防水範囲を参照してください。
- 3 プローブを薬液から取り出し、滅菌水で消毒液を洗い流します。
- 4 滅菌された柔らかい布でプローブを拭き、自然乾燥させます。
 - ・乾燥の際、プローブを熱したり、熱風をかけたりしないでください。故障の原因になります。

薬品名	商品名	方法および浸漬時間
グルタルアルデヒド	サイデックスプラス® 28 3.5% 液	3.5 % (実用液)、 浸漬 1 時間 温度：室温
オルトフタルアルデヒド	ディスオーバー® 消毒液 0.55%	0.55 % (実用液)、 浸漬 12 分 温度：室温

☐ 重要

- ・プローブを繰り返し消毒すると変色することがありますが、プローブの性能には影響ありません。

■使用可能な消毒薬剤および消毒手順②

■対象機種

SONOVISTA FX シリーズ : SONOVISTA FX、SONOVISTA FX premium edition

【本体の消毒手順】

1. 中性洗剤を軽く含ませた清潔なガーゼまたは糸くずの出ない布を使い、本装置の表面を清拭します。
2. 清拭後、清潔で糸くずの出ない布で表面を乾拭きします。
3. 超音波診断装置及び下表に明記している構成部品の表面に使用可能な消毒ワイブは、以下の通りです。

	Clinell	Protex Ultra
超音波画像診断装置	✓	✓
プロープライナー	✓	✓
トラックボール アセンブリ	✓	✓

*または、<1%次亜塩素酸ナトリウム以外の有効成分を含有しない漂白ワイブ。

【本体・プローブの次亜塩素酸ナトリウム液による消毒手順】

1. 柔らかい布やキッチンペーパー等に、0.05%～0.1%程度に希釈した次亜塩素酸ナトリウム液を染み込ませ（ウェットティッシュやおしぼり程度の湿り気）、本体・プローブを清拭してください。

隙間部分や金属部分への薬剤の侵入には十分ご注意ください。

2. 5分以内に全体を丁寧に**水拭き**してください。

■注意事項

- 消毒用エタノール、塩素化または芳香性溶剤、酸性または塩基性溶液、イソプロピルアルコール、およびアンモニア製品などの強力クリーナーは本体表面を損傷する可能性があるため、本体の清拭には使用しないでください。（ただし、イソプロピルアルコールはプローブのみ使用可能です）
- 薬剤は適量で使用し、機器を浸漬したり、濡れたままの状態で放置したりしないでください。また、**隙間部分から内部への薬剤の侵入には十分ご注意ください。錆びやクラック、塗装剥がれの原因となります。**
- **汚れ落としのため、薬剤を染み込ませた布等で強く擦らないでください。**
- 作業は、電源を OFF にし、換気の良い場所で行ってください。
- 作業の安全のため、保護メガネやサージカルグローブをご使用ください。
- 取扱説明書記載の薬剤を使用の際は、各薬剤の取扱説明書をご参照ください。

以上、安全にご配慮の上、弊社超音波診断装置をご使用ください。

■参考

プローブの洗浄・消毒、浸漬範囲に関しては、各装置の取扱説明書もしくは、「プローブの取り扱い」をご参照下さい。(以下は、SONOVISTA FX premium edition 取扱説明書より抜粋)

【プローブの清掃手順】

1. 清潔なガーゼや布に水を含ませ、プローブに残っている付着物を慎重に拭き取ります。
 - a. コネクタの電子部品には触らないようにし、プローブコネクタは慎重に拭き取ります。
 - b. 続いて、患者に接触したプローブ表面からコネクタまでをふき取ります。
 - c. もし、水でプローブ付着物が拭き取れない場合は、以下のクリーナーを使用し清掃してください。

使用できるプレクリーナーと低レベル消毒剤のリスト

注: Gigasept FF はプローブの変色の原因になることがあります。ただし、その場合に画像性能やプローブの信頼性が低下することはありませんので、クリーナーおよび消毒薬として Gigasept FF を使用することが可能です。

	Enzol	Transeptic	Gigasept FF
5.0C50A	✓	NA	✓
7.5L40A	✓	NA	✓
EV9-4	✓	✓	✓
EC9-4w	✓	✓	✓
EV10-5	✓	✓	✓
TV-A	✓	✓	✓

✓ = 対応

NA = 適用せず(未試験)

2. 清潔な毛羽たちのない柔らかい布でプローブの水分を拭き取ります。

【プローブの消毒手順】

前提条件：プローブを消毒する前には、上記手順によりプローブを清掃する必要があります。

1. 下表から消毒液を選択します。必要な消毒レベルについては、消毒薬製造元の指示に従ってください。

使用可能な消毒液のリスト

注: Cidex OPA および、Gigasept FF は、プローブの変色の原因になる場合があります。ただし、その場合に画像性能やプローブの信頼性が低下することはありませんので、クリーナーおよび消毒薬として Cidex OPA および、Gigasept FF を使用することが可能です。

	CIDEX	CIDEX OPA	Gigasept FF	Milton	Pl-Spray II	RelyOn Virkon	Revital Ox RESERT HLD	Sani-Cloth AF3	Sani-Cloth HB	Super Sani-Cloth
5.0C50A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NA	✓	✓
7.5L40A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NA	✓	✓
EV9-4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NA	✓	✓
EC9-4w	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NA	✓	✓
EV10-5	NA	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NA	✓	✓
TV-A	NA	✓	✓	✓	✓	✓	NA	NA	✓	✓

✓ = 対応

NA = 適用せず(未試験)

2. 清潔な毛羽たちのない柔らかい布でプローブの水分を拭き取ります。